

◆ SCS セミナーを受講される方への事前準備のお知らせ ◆

- SCS では四肢のテクニック、主に下肢の治療テクニックにてタオルを用います。

受講される方はバスタオルを各自持参してください。

- 予習の為の書籍について

SCS の書籍は日本語版・英語版などいくつかあり、それぞれに圧痛点（テンダーポイント）やポジショニングに相違があります。しかし、原理原則は全て同じです。

また、JOPA でお伝えする SCS は、「圧痛の徴候が減弱する最適な角度取り(ポジショニング)の実技」に重きと時間をおいております。よって、セミナー前にどのような書籍で予習されても問題ありませんので、どうぞご了承の上ご参加下さい。

- 触診について

四肢はもちろんのことですが、特に頸椎から腰椎にかけての椎骨（棘突起、横突起）の触診をできるだけ練習したうえで参加されることをお勧めいたします。

- SCS の使用言語について

SCS では、検査および治療ポジションの表現として独自の略語を使用します。

圧痛点（テンダーポイント）の部位を表す略語。

治療テクニックで用いられる関節のポジショニング、方向、角度を表す略語。

以下に示す主な略語・言語をセミナー受講までに予習しておいて下さい。

<主な解剖学的部位の略語>

C : cervical spine

T : thoracic spine

R : rib

L : lumbar spine

SP : spinal process

TP : transverse process

<力の方向を表す略語>

A : anterior P : posterior

S : superior I : inferior

M : medial L : lateral

例) AP=前後方向へ、SI=上下方向へ

LM=外内方へ

<治療ポジションを表す略語>

F/f : flexion E/e : extension

S/s : side bend R/r : rotation

T/t : toward (同側)

A/a : away (対側)

例) F St Ra

→屈曲+同側へ小さい側屈+対側へ小さい回旋

ER / er : external rotation

IR / ir : internal rotation

ABD/abd : abduction

ADD/add : adduction

※アルファベットの大小は動きの大小を表す。